

学びと誇りが実感できるまち
～振り返りを大切に！
次のステージへ！～

令和3年3月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



春風や闘志いだきて丘に立つ (高浜虚子)

子供たちの頑張り、活躍が続いています。3つ紹介します。

1つ目は、先月、令和2年度「広島県教育奨励賞」に口和中学校が選出され表彰されたことです。口和中学校は、道徳教育の充実に向けて、国や県の研究指定を受け、対話により考えを深める授業づくりや生徒の成長を促す評価の在り方を研究しています。また、読書活動を積極的に行い、読み語りを通して地域との結びつきを深めています。こうした道徳や読書の取り組みの成果が認められ、このたびの受賞となりました。おめでとうございます。

2つ目は、今年も【庄原市児童生徒詩文集「さとやま」】を発刊したことです。第16号となりますが、学校生活の中で学習したことや発見したこと、身近な生活の中で体験・感動したこと、読書により学んだことなど、素直な気持ちが自分の言葉で生き生きと表現されています。今後も書く活動に力を入れていきます。

3つ目は、本年度、子供司書が17名誕生したことです。毎年、第5・6学年を対象として子供司書養成講座を開催し「本をたくさん読む」「読み聞かせをする」「読書環境整備をする」などの活動を行っています。本をますます好きになり、読書活動推進リーダーとして活躍してほしいと思っています。

さて、今回は子供たちと過ごした家庭生活の1年間を振り返ることについてです。子供たちと話し合う時間をつくり、継続してやり続けたことや成長したことの評価をはじめ、これから次のステージに進むには何ができるのか、何をすることが大切なのかなど、子供たちの心に寄り添いながらお願いします。

また、これまで各家庭で取り組んでみてくださいと提案してきた次の点はどうだったかなど、振り返ってみてください。

①挨拶をする	②決めた時刻に就寝する	③朝食を食べる
④手伝いを進んでする	⑤料理や弁当をつくる	⑥自然体験活動をする
⑦手紙を書く	⑧日記を綴る	⑨本を読む (絵本のすすめ)
⑩スマートフォンを持っている場合：ルールを決めて、守って使う		

コロナ禍にあつて、ほとんど外出ができない環境にあります。家の中での生活時間が多くなっていると思いますが、どのような過ごし方をすればいいのか家族でよく話し合ってみましょう。